

防災訓練

十月四日（日）に大淵小学校で行われた訓練には自主防災会や消防団など約五百人が参加。応急手当や救出救護、消火器取扱・パケツリレーによる消火などの訓練を行い、参加者はいざ災害が起きたときの知識や心構えを改めて確認していました。



地域の茶の間

「マジックシヨウ」や「からくり人形」は、大淵小学校児童の見学があり、興味津々と鑑賞していました。



マジックシヨウ

笑いヨガ



からくり人形

医療・福祉・ 介護の連携

大江山荘と大淵荘の開催に合わせて「市民出前講座」を開催し、市保健所と椿田病院事務長の北村義彦さんからお話しをしていただきました。

内容は「大江山地区における医療・福祉・介護連携の取り組みについて」で新潟市の現状と今後の高齢者人口の見通し、新潟市の高齢化の推移、医療・介護制度の改正（医療機能分化の推進、医療・介護の連携機能、地域包括ケアに向けた取り組み、「施設」から「地域」へ「医療」から「介護」へ）などについての説明がありました。

また、「今後、急速に高齢化が進み、やがて「一人の若者が一人の高齢者を支える」という厳しい社会すなわち肩車社会の到来が予想されます。

在宅で死亡する割合と医療機関等での死亡の割合が逆転し、全国では二〇四〇年には約四十九万人分の看取りの場所が不足する見込みであります。

さらに、団塊の世代が七十五歳以上となる二〇二五年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らし

を人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援等を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」についてお話ししていただきました。

見守りマップの作成

コミ協では大江山地区「ささえあいマップづくり」に取り組むため、大江山地区をブロック別にした住宅地図を作成しました。

地域での日常的な支えあいづくりを目的に地域住民が大きな住宅地図を囲み、地域の現状を地図に書き込みながら確認し、地域のさまざまな福祉課題を共有しながら課題の解決に結び付けるために行うものです。

高齢者一人世帯・二人世帯・日中は高齢者のみとなる世帯や空き家などを把握するとともに、高齢者が近所つきあいなど日常どのような生活がなされているかなどを知ることにより今後の活動に結び付けていくものです。

七月には大江山環境改善センターで自治会長、民生委員合同会議でマップ作りの要請と事例として江口自治会での取組みが紹介されました。



夏っ子ひろばの開催

夏休み期間中の八月五日に大淵小学校を会場に「夏っ子ひろば」が開催されました。参加者児童は、凧やキャンドルづくりにも暑さも忘れて取り組んでいました。



おはよう朝ごはん料理講習会

十月十七日に教育文化庁主催で子供と保護者を対象としたおはよう朝ごはん料理講習会&ミニ講話が大江山中学校で開催されました。参加者は食育推進員の指導のもと

- ・にぎらーず
- ・野菜のヨーグルト和え
- ・さつまいもの蒸しパン

などのメニューに取り組みました。



編集後記

一 大江山地区コミ協の活動の原資となっているのが、地域活動補助金、運営費補助金、古紙行政収集活動支援金です。皆様のご協力をお願いします。

二 コピー機を無料で使用していただきましたが、トナー代金が高額（カラーインク代）なため、有料化を検討しています。